

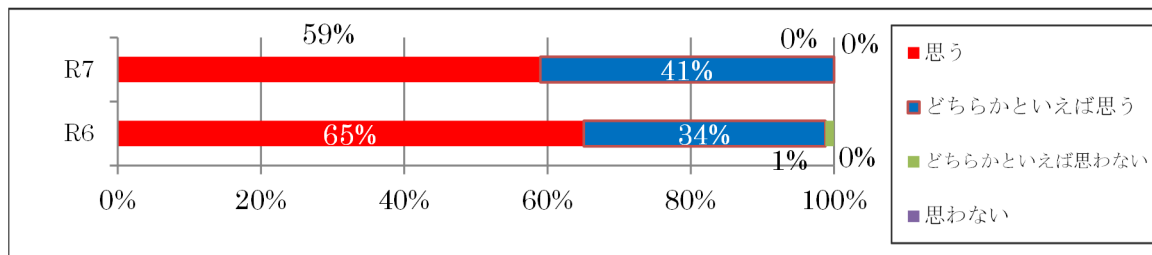
令和7年度 学園・学校評価のまとめについて

春寒の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育活動につきましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

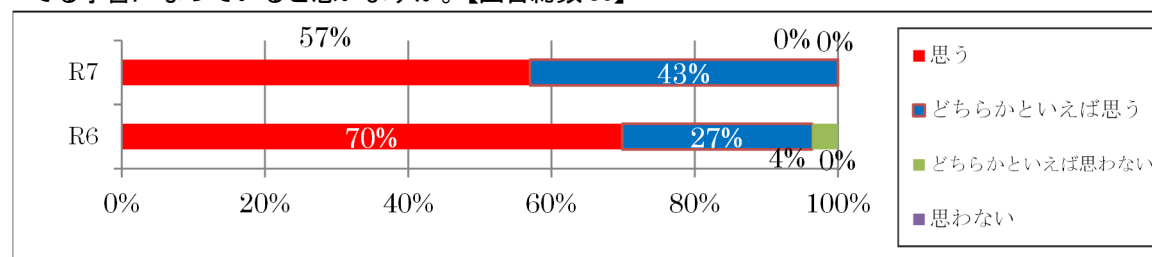
2学期末にご協力いただいた学園・学校評価アンケートのまとめについて項目ごとに結果と考察をお伝えします。いただいたご意見を深く受け止め、今後の本校、本学園の教育に活かして参ります。

学園評価アンケート【保護者】

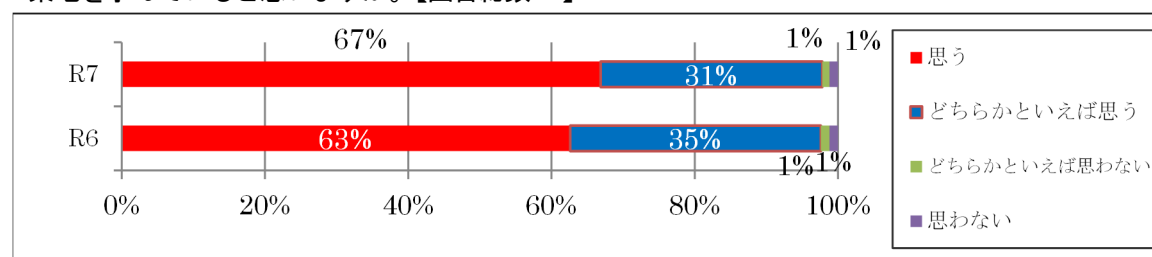
- 1 「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは、地域のよさを実感していると思いますか。【回答総数 86】



- 2 「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。【回答総数 86】



- 3 学校のスキー授業を通して、子どもたちはスキーを楽しむとともに、スキー技能やゲレンデマナーの素地を学んでいると思いますか。【回答総数 86】



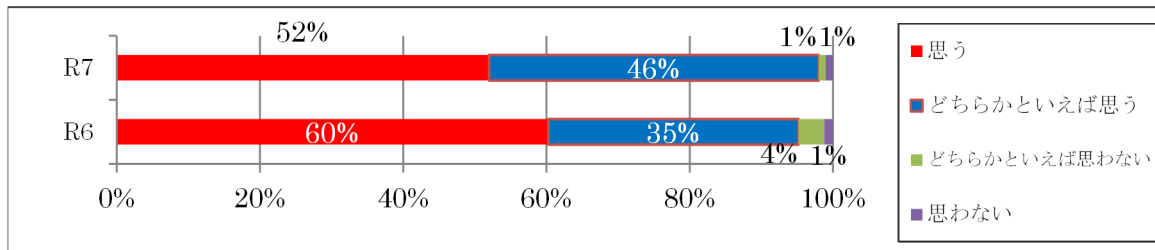
今年度も、地域の様々な「ひと・もの・こと」に触れて学ぶ機会がたくさんありました。また、ボランティア支援センターの協力も得て、様々な学習場面で地域の皆様にご協力いただきました。それらの出会いの全てが子どもたちの学びにつながった1年となりました。

英語学習においては、どの学年も ALT のネイティブな発音に触れながら、会話やゲームを通して音声でのやりとりの力を向上させています。また、前期（4月から9月）は、朝の時間に5分間のイングリッシュタイムを設けて、毎日英語に触れる取り組みをしています。また、後期（10月から3月）は、月曜日と金曜日に10分間のイングリッシュタイムを設けて取り組んでいます。今後も英語の学習が楽しい時間となるように工夫していきます。

スキー学習については、今年度アルペンスキー授業の実施期日を1日減らしましたが、1回当たりの授業時間は増やし、昨年度と同様の時数を確保しています。今年度もスキー技能向上につながる継続的な取り組みをしています。

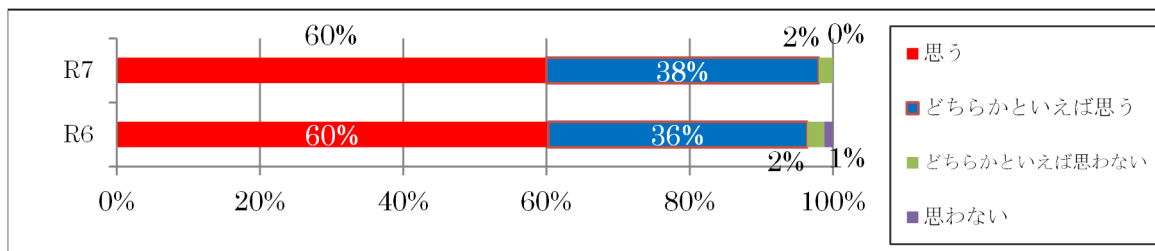
学校評価アンケート【保護者】

①学校は、教育方針や学級の様子等をおたよりや懇談会等で知らせたり、家庭と連絡をきめ細かく行ったりしていますか。【回答総数 86】



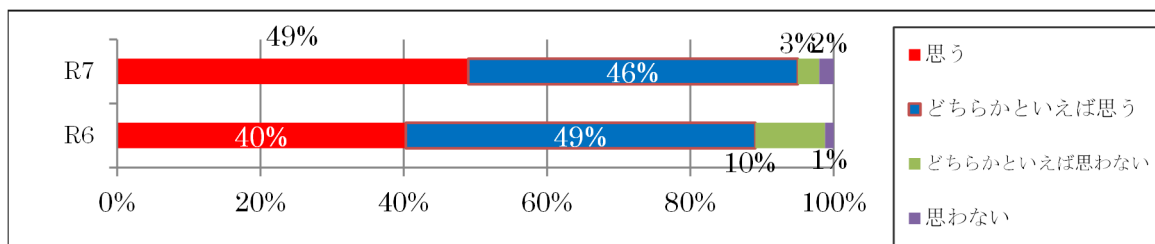
多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（98%）。今年度も学校の様子を「学年だより」「広報のざわおんせん」「山毛櫨の子 野沢温泉学園だより」「授業参観・懇談会」「学校 HP」などでお知らせしてきました。今後も、家庭との連携を大切にしながら、子どもたちの学校生活や学びの様子により分かりやすく伝わるよう、情報発信の充実ときめ細かな連絡に努めてまいります。

②学校は、授業参観や行事等で、保護者や地域の方々が参加や参観をしやすいような開放的な感じがしますか。【回答総数 86】



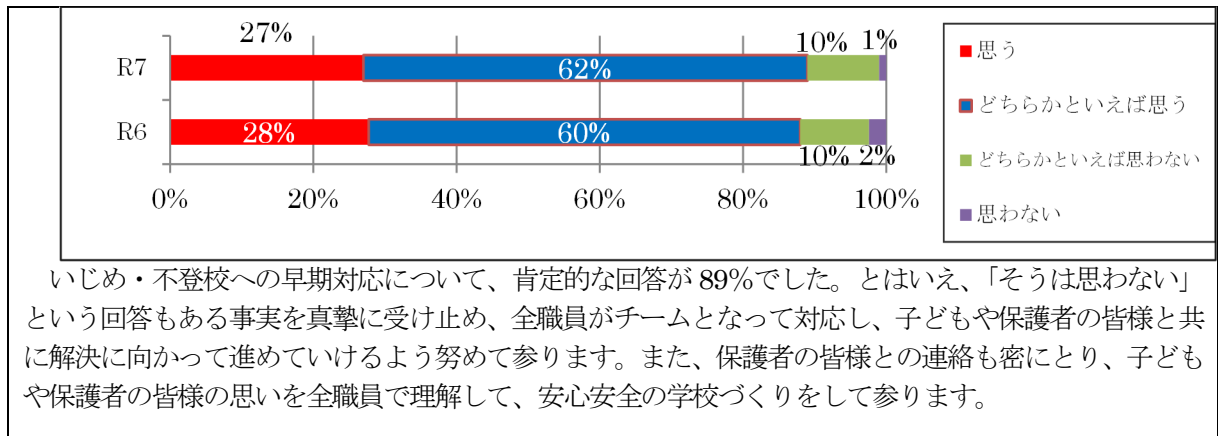
多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（98%）。今年度は、学園音楽会を開催して保護者の皆様に鑑賞していただきました。また、学園授業研究会の午前中に、授業を公開して保護者の皆様に参観していただきました。来年度も、子どもたちの様子をより多くの皆様に見ていただけるようにしていきます。

③学校は、施設設備などの環境整備、登下校や休み中の生活の仕方等で、安全に配慮していますか。【回答総数 86】



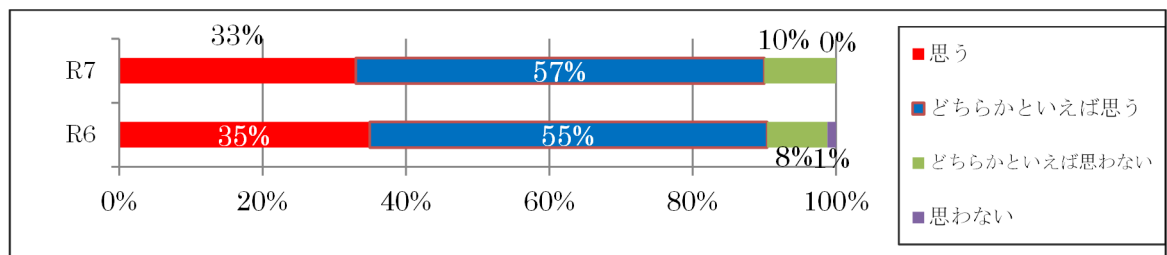
肯定的な回答が6ポイント増えました。引き続き、安心安全な学校を目指し、施設の安全点検や通学路の巡視などに取り組んでいきます。子どもたちの安全面へのご意見（交通ルール徹底、不審者対応、雪道の安全など）は、速やかに対応し、子どもたちへも指導していきます。クマ出没対策や水路などの地域特有の課題に対して、関係機関ともいただいた意見を共有しながら、改善を要望してまいります。児童用の遊具等の設備面については、必要な修繕や改善を進めていきます。登下校の安全確保についても、地域と協力しながら継続的に取り組んでいきます。

④学校は、いじめや不登校等の発生を早期にとらえ対応し、子どもが安心して登校できるように努めていますか。【回答総数 86】



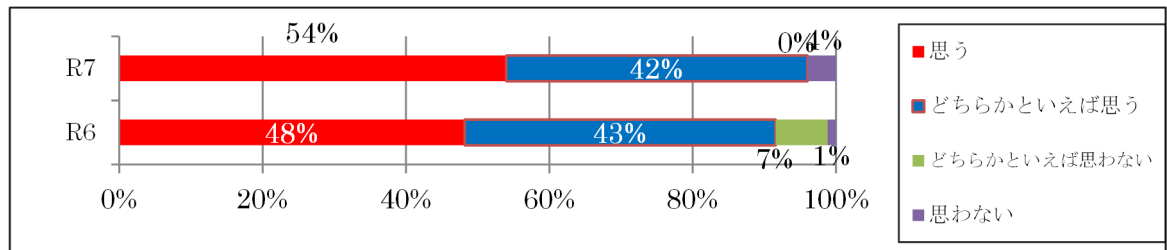
⑤学校は、命を大切にする心や人権に関する課題について、学ばせようとしていますか。

【回答総数 86】

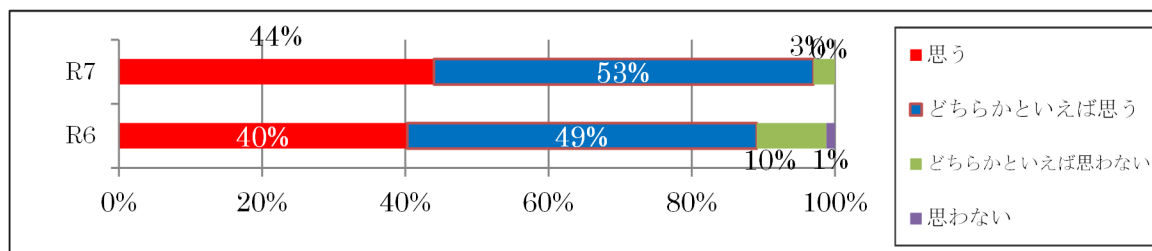


⑥学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。(学級担任以外も含めて)

【回答総数 86】

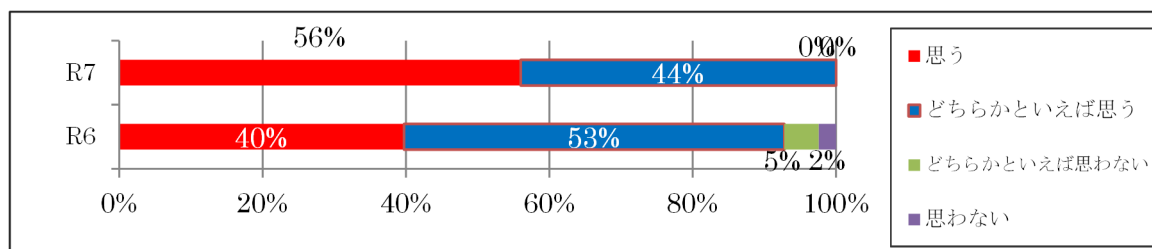


⑦学校職員は、子どもの話を聞いたり、子どもと遊んだりして、子どもを理解し、適切な指導、評価をしていますか。【回答総数 86】



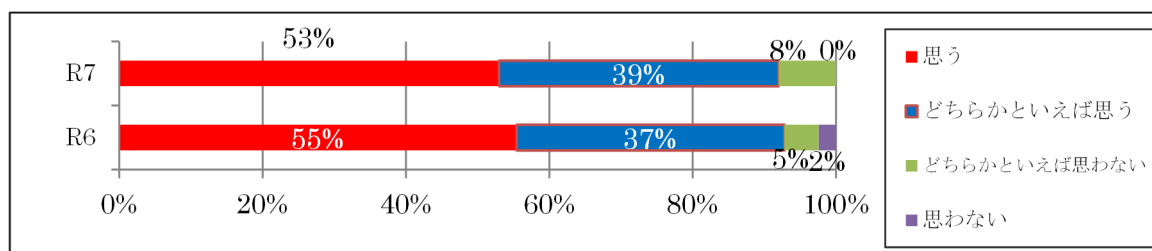
肯定的な回答が 8 ポイント増えました。本校では、「遊びの時間」を年間計画に位置付け、職員も一緒に子どもたちとかかわる時間に行っています。今後も、子どもたちと共に活動する学習や遊びの時間を大切にする事で子どもたちを理解し、適切な指導ができるよう努めます。また、教職員が子ども達へ指導をする際の声かけや態度についてご意見をいただきました。一人一人の言葉に耳を傾け、思いに寄り添いながら、トラブルや訴えに対応していきます。

⑧学校職員は、わかりやすい授業をしていますか。【回答総数 86】



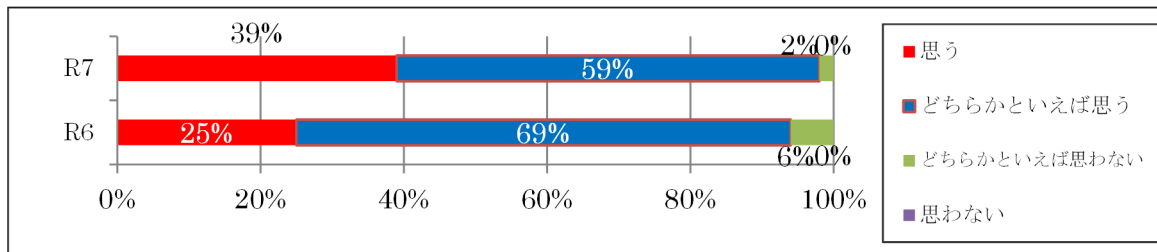
肯定的な回答をいただいています。授業参観の回数が限られていますが、多様な学習場面を見ていただけるように、年間を通して計画的に授業参観を計画していき、子どもたちの学びの姿を見ていただけるようにしていきます。学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切に、授業改善を進めていきます。これからも子どもたちが自ら学ぶ楽しさを感じられる時間を設けたり、教職員が教材の準備や指導内容の研究に充てる時間を確保したりできるように努めます。さらに、一人一人の学ぶ様子にも目を向けながら学習支援員とも連携して指導していきます。

⑨子どもは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。【回答総数 86】



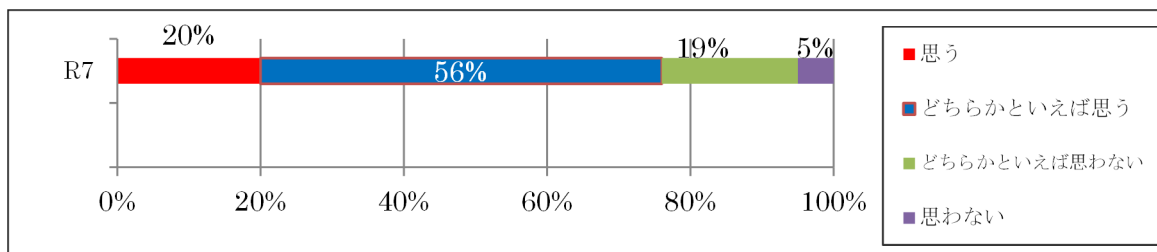
今後も職員全員で連携し、日々の子どもの表情やつぶやきを注視していきます。さらに、保護者との情報交換を密に行うこと、スクールカウンセラーや村児童相談員とも連携していくことを引き続き大切にして、悩みがあったり、学校生活に居づらさを感じたりしている子どもに、丁寧に対応をしていきます。また、学校がもっと楽しくなるように、授業改善にも取り組んでいきます。

⑩野沢温泉小学校の子ども達は、場に応じたマナーやあいさつができますか。【回答総数 86】



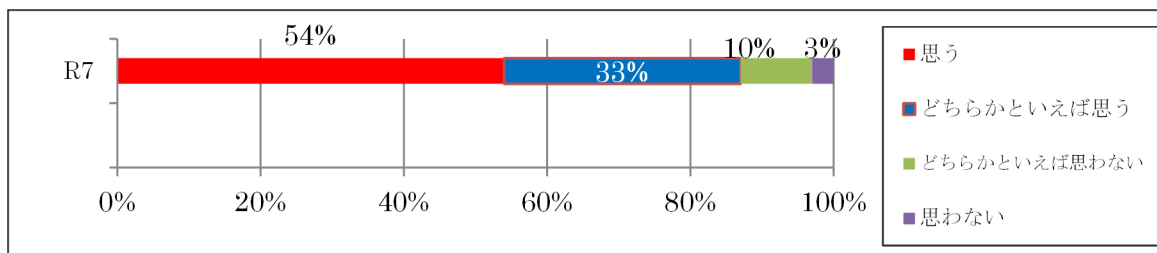
肯定的な回答が6ポイント増えました。今年度も、児童会や総合・生活科の学習で地域に出て活動する機会が増え、その度に場に応じた「あいさつ」や「行動」が求められました。比較的元気なあいさつができる本校の子どもたちです。今後も子どもたちと一緒にあいさつの大切さについて考え、実践できるように指導していきます。また、場に応じたマナーやあいさつは、学校、家庭、地域も含めた子どもたちの生活全体で育んでいくものと捉え、私たち教職員も、保護者の皆様と協力しながら、大人として子どもたちの良い見本となるように努めて参ります。

⑪今年度後半からの「1コマ40分授業午前5時間制」は、お子さんの学習意欲の向上に結びついていると思いますか。【回答総数 86】



「時間割の変更により子ども達が混乱し、疲れを感じている。」「しわ寄せが出る。」など意見をいただきました。新しい取り組みが子どもたちの負担になってしまわないよう、活動の目的や構造を再度整理し、必要に応じて改善を行っていきます。また、授業のテンポが速くなり、子どもたちが理解しきれないまま進んでしまうことのないように、授業の進め方や個別のフォロー体制を見直し、子どもたちが無理なく学習内容を身につけられるよう、より丁寧な指導に努めてまいります。

⑫今年度始めた「じぶんラボ」に、お子さんは意欲的に取り組んでいますか。【回答総数 86】



「じぶんラボ」は、子どもたち一人一人が自分の興味・関心をもとに考え、試行錯誤することを大切にしたい学びの時間です。実際の活動の様子を参観していただく機会を設けたり、学年だよりや学校 HP 等を通して、活動のねらいや子どもたちの成長の姿をお伝えしたりすることで、取り組みへのご理解をさらに深めていただけるよう努めてまいります。

また、「あそびの時間になってはいないか」「低学年にはじぶんラボでやりたいことを見つけるのが難しいのでは」などご指摘いただいた点については、子どもたちにとってより充実した学びの時間となるよう、改善を重ねてまいります。

保護者の皆様からいただいたご意見

教職員が子ども一人ひとりやご家庭の背景を理解し、学習・生活の両面で丁寧に見守っていることへの感謝の声をいただきました。後期の下校時刻変更により、家庭での時間にゆとりが生まれ、生活リズムや学習習慣に良い変化が見られたという意見もありました。タブレット活用については肯定的な声がある一方、文字を書く機会の減少を心配する声もありました。

⇒後期の下校時刻の変更により、ご家庭での時間にゆとりが生まれ、落ち着いて宿題に取り組んでいるとお声を嬉しく拝見しました。教職員の見守りについても丁寧だと温かいお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。私たちにとって大きな励みになります。タブレット活用と書字のバランスについてのご心配も受け止め、今後も紙とデジタルの双方を適切に活用できるよう努めてまいります。

《アンケート結果について》

学校評価アンケートについて、結果の共有が十分でなく、改善につながっている様子が分かりにくいというご意見をいただきました。また、新カリキュラム導入前のアンケートでは、寄せられたご意見が十分に反映されていないのではないかという声もありました。

⇒すべてのご意見に対する見解をここに記載することはできませんが、いただいたご意見は、学校として真摯に受け止め改善に生かしてまいります。ご不明な点がございましたら、お申し出ください。

《スキー授業について》

スキー学習では、成長に伴う用具の買い替えが家庭の負担が大きいとの声がありました。また、授業の必要性や回数についても見直しを求める声があり、運動が苦手な子どもへの負担を心配している意見もありました。

⇒スキー学習につきましては、村の教育方針に基づいて行っています。用具の買い替えに伴うご家庭の負担軽減のご要望を教育委員会 PTA と情報を共有し協議してまいります。

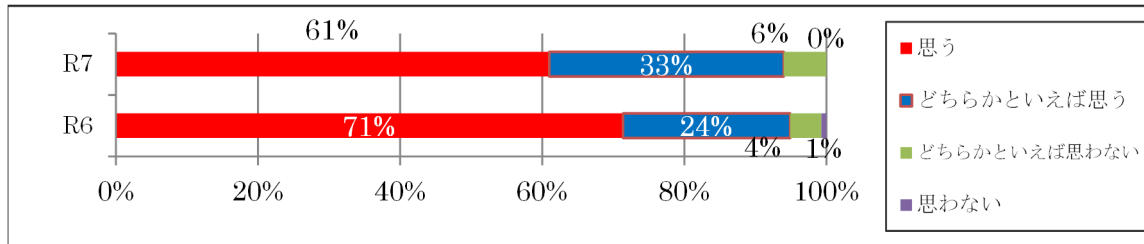
また、授業内容については、児童の過度の負担にならないように配慮してまいります。ご心配なことがありましたらご相談ください。

・これからもご意見やお気づきのことがありましたら、ご連絡いただけたら幸いです。共に子どもたちのために考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

学園評価アンケート【児童】

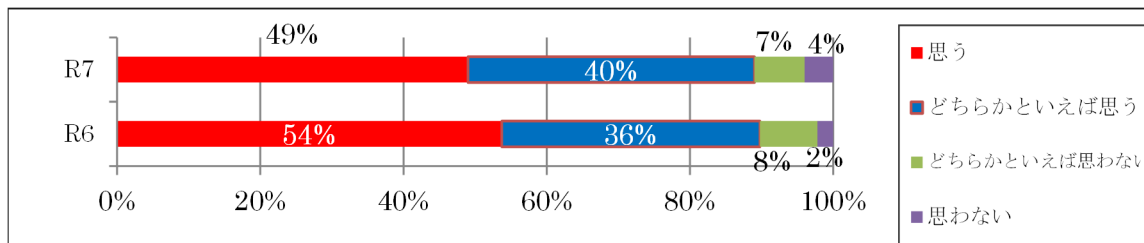
【132人】

1【ふるさと学習】 村のことを調べたり、村の人に教えてもらったり、村に出かけたりして、野沢温泉村のいいところがよくわかった。



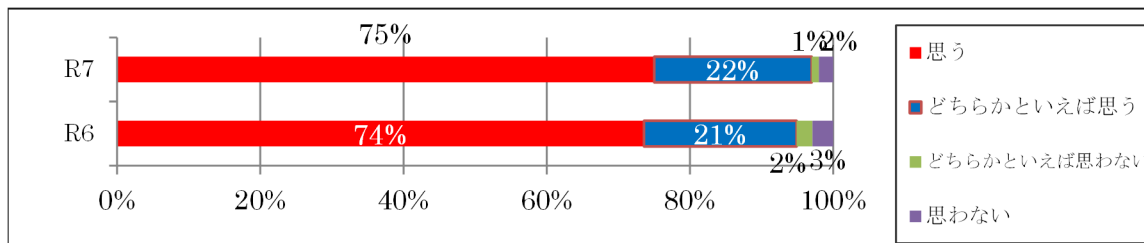
多くの子ども達が「思う・どちらかといえば思う」と答えました。村の様々な場所へ出かけて体験する機会をできるだけ増やし、地域や保護者の皆様に支えられて学習できたことに感謝いたします。今後も、体験を通して「村の人々の思いに触れること」を大切にしながらさらに学習を進めて参ります。

2【英語学習】外国の人や村の人、友だちや先生などと、英語を使ったやり取りを楽しむことができた。



ALT との交流を通して英語でのコミュニケーションを楽しんでいる子どもたちです。「思う・どちらかといえば思う」が 89%に対して、11%の子が否定的な回答をしています。授業やイングリッシュタイムでは、英語でのやりとりの楽しさを味わえるように、引き続き工夫して参ります。また、活動を通して英語を楽しめる取り組みも工夫していきます。

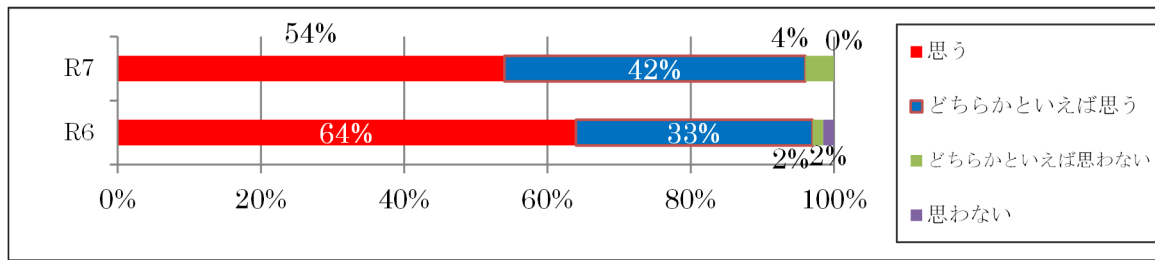
3【スキー学習】スキーを楽しみながら、スキーも上手になってきている。



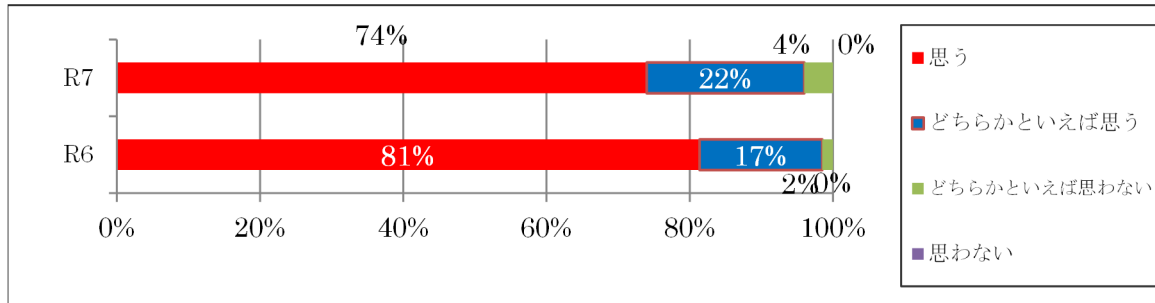
地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、スキーを楽しんでいる子どもたちが昨年度よりもわずかに増えました。スキーが楽しいと感じている子どもたちの一方で、スキーに対して苦手意識のある子どももいることを忘れずに、楽しいスキー授業を大事にしながら、技能レベルに合わせた指導内容を今後も検討していきます。スキースクールのコーチやスキー授業に参加いただいている保護者の皆様に、感謝いたします。

学校評価アンケート【児童】

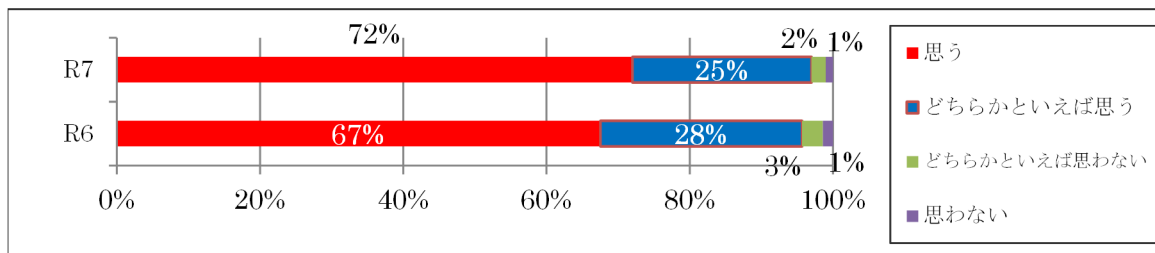
- ① お家の人は、学校からのおたよりなどで、学校の行事や学級の活動の様子をよく知っている。



- ② 授業参観や行事などには、お家の人や村の人がたくさん来てくれている。

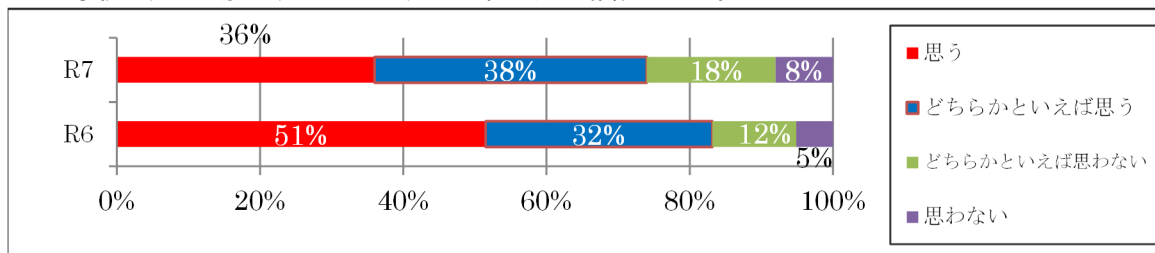


- ③ 学校の建物や用具などに危険なところは無く、また登下校や休み中の生活でも安全に気を付けている。



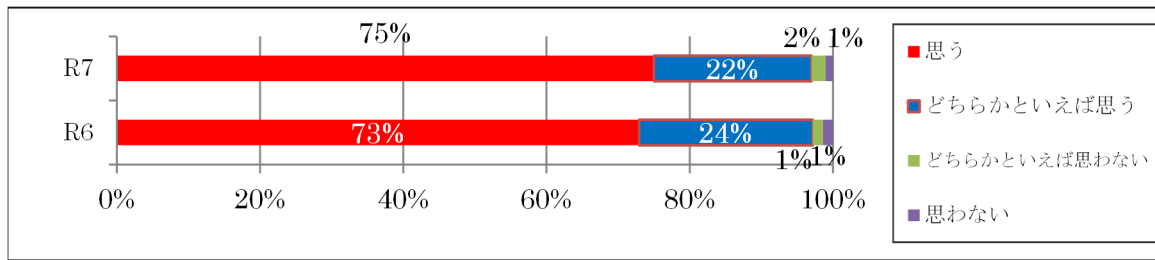
引き続き、学校の様子をご家庭や地域の皆様にお伝えできるようにいたします。また、校内外や下校中の安全に気をつけ、子どもたちのために取り組んで参ります。①②③

- ④ いじめがあったり、学校に行きたくなかったり、その他のことで悩みなどがあったりするときは、学校の先生（担任先生以外の先生も含む）に相談できる。

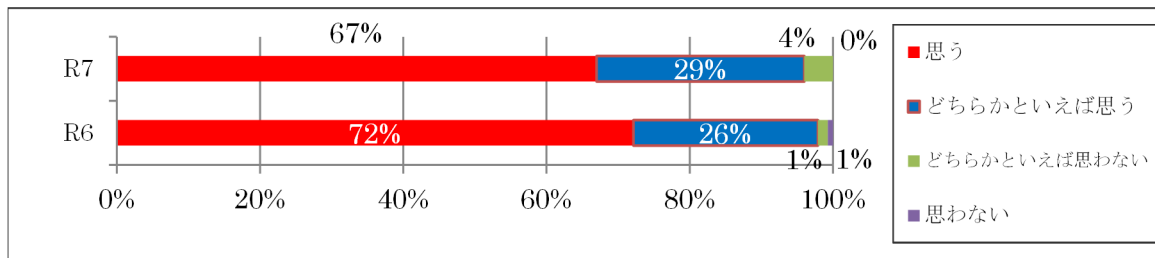


「思う・どちらかといえば思う」がR7年度は74%でした。R2年度66%、R3年度74%、R4年度とR5年度は80%、R6年度は83%と徐々に子どもたちにとって相談しやすい環境になってきていましたが、26%の子どもたちが、何か困ったことがあった時に学校職員に相談しようと思わないと感じています。このことを大事に受け止め、年2回の「相談週間」だけでなく、普段のかかわりの中でも「子どもと1対1で話す時間」を今まで以上に大事にしていきます。また、教科担任や養護教諭などいろいろな先生に相談できる機会を今後も作ることで、子どもからの声に真摯な対応をして「先生に相談しよう」と思えるような関係性を築いていきます。

⑤ 道徳などで、命の大切さや、みんなで仲良くすることの大切さなどについて学んでいる。

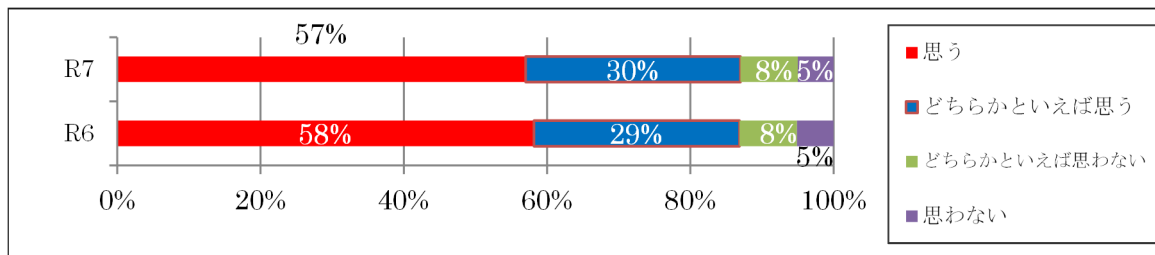


⑥ 授業はわかりやすい。もしわからないところがあっても、質問すれば先生や友だちが教えてくれる。



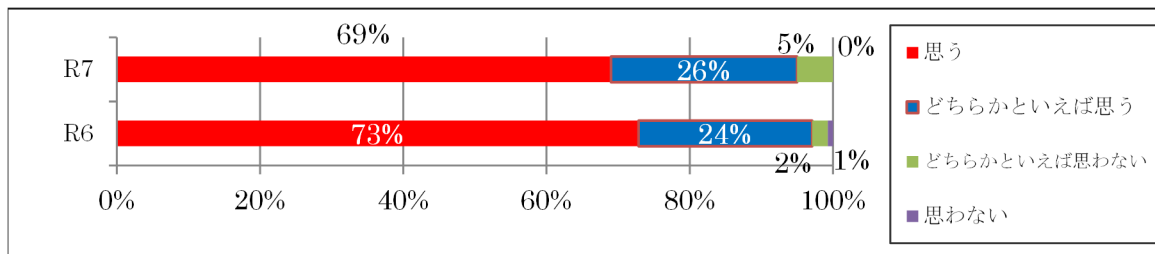
多くの子どもたちが「思う・どちらかといえば思う」の回答をしています。今後も、学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切にして、学ぶことが楽しいと、子どもたち自身が思える授業となるように工夫して参ります。⑤⑥

⑦ 学校へ行くのが楽しい。



「思う・どちらかといえば思う」の回答が87%でした。一方13%の子どもたちが「どちらかといえば思わない・思わない」の回答をしています。子どもたち一人一人と関わりをもちながら、保護者アンケート⑨のように対応し、子どもの願いや悩みに寄り添っていききたいと思います。

⑧ 友だちや先生、村の人などに、あいさつをきちんとしている。



昨年度に比べ「思う・どちらかといえば思う」と回答した割合が減少しています。あいさつは、学校生活の基本であると同時に、人との関わりを円滑にする大切な力と考えています。今後も、子どもたちと共に、学級内でのあいさつや児童会活動のあいさつ運動等に取り組んでいきます。